

# Weekly Report



## 名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日 13:00～14:00

会長 藤谷 猛

例会場 ANA クラウンプラザ  
グランコートホテル名古屋

幹事 深見 礼子

承認 2013年6月18日

公共イメージ  
向上 岩崎 幸弘



ロータリー：  
変化をもたらす

2017～2018年度名古屋アイリスRCのテーマ

共に活動し、共に奉仕し、  
共に頑張るアイリス

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

### 第211回 例会

2017年12月13日 13:00

- 司 会：島村例会運営・司会委員
- 斉 唱：我等の生業
- 出席報告：出席者数 23名 / 会員数 42名  
出席率 66.66%  
前々回(209回)修正出席率 80.95%
- ビジター：

#### ニコボックス

- 最近、平均 3 時間くらいしか寝ていません。本日、居眠りしたらお許し下さい。(藤谷猛会長)
- 廣瀬さん ラグビーワールドカップのお話楽しみにしています。本日卓話よろしくお願ひ致します。(加藤正広さん)

#### 会長挨拶



みなさん、こんにちは。ここに居られる大半の方々は経営者か、それに準ずる方々であります。みなさん経営は本当に難しいですね。経営の神様として称えられた松下幸之助さんが、こうっておられたそうです。「私は小学校しか出ていない。だから、有能な頭のいい人に入社して頂いて、活躍して頂くのだ」と。

世界の鋼鉄王といわれたアンドリュー・カーネギーは、自分の墓に「自分より有能な人を使った者、ここに眠る」と刻ませたそうです。松下幸之助、そしてアンドリュー・カーネギーというお二人は、経済大国である日本と米国の英雄的経営者と言われていますが、自分よりも有能なものを雇うとは、実に謙虚であり、大いに勉強させられます。確かに、そうあらねば経営者の能力の限界が、その会社の限界になってしまいます。無一文から自分が創った。自分がすべてを計画して、采配を振るってここまでやってきた。凡人ならば誰もが、そう思いやすい。俺が、俺がと思ひやすくなります。高慢な、小さな心になりやすい。そこが、発展するか、小

さくまとまってしまうかの分かれ目なのかもしれません。私も創業社長であります。特に気を付けなくてはなりません。これは2代目、3代目の経営者も同じことが言えるのではないのでしょうか。

私が20代で会社を始めたころから、大変お世話になっている方がおりました。その方から「水は低い所へ流れる。人も、お金も、心も、みんな低い所に集まる」、いつも「低い心で通りなさい」と教えられました。

そして「発展して栄えていく会社、不振になって行く会社、会社にも栄枯盛衰がある。没落する会社の人は、必ず心が高くなっている。栄えていく会社の人は、心が低くなっている。山を登るときは、足元を見て登る。下るときは、空を見て下る。それと同じようなものである」。この事を何度となく教えられました。「低い心で通ると舐められ馬鹿にされる。いいかげんに扱われる。先が不安だ。それでは、自分がやっつけなくなる。」この話をすると、とくに経営者の方々の中には、このように言い訳をする方がいます。しかし、本当に、低い心で通ると悪くなるのでしょうか。ちょっとした事で、腹を立てたり文句を言う。そういう高慢な心こそ、誰からも嫌われ、結局、先行きが悪くなるのではないのでしょうか。

私は会社を創ってから30年が過ぎました。しかし、いまだ、この命題と戦っています。低い心は、一朝一夕にはできません。わたしにとっては、とても大きな命題です。あらためて胸に刻んで通らせて頂きたいと思ひます。

ところで、みなさんの会社は和気あいあいとしていますか。みんなが勇めば、会社は繁栄します。心がバラバラで、みんなが暗くなれば会社の業績は悪くなってしまいます。その分かれ目は、どこにあるのでしょうか。その一番のポイントは、社長が会社の中心にあるのか、それともいい加減に扱われているのか、ここが問題なのです。ちょっと変わった見方と思うかもしれませんが、大事な点です。どんなものにも中心があります。中心があるところに安定があり、繁栄があり、明るさがあることを知らなければなりません。店でも会社でも、経営者が馬鹿にされていたり、嫌われているところには必ず、争い、混乱、崩壊が現れてくるものです。国であっても同じことですね。どんなものにも中心があ

ります。それが分かる心の目を持ちたいものです。店長、社長、そして親、それらは、それぞれの中心であり、根であり、すべての元なのです。根が傷んだら、枝葉は必ずしおれて枯れてきます。枝葉が枯れるのは根が悪いからだ。しっかり元気を出さない根が悪いと言って根を責めたり、根をつついてダメージを与えられと、ますます根が根が傷んで枝葉は枯れてしまいます。根が傷んで枝葉が枯れてきたら、根に肥やしをやる。それが賢い生き方ではないでしょうか。

社長がダメでも、社員が盛り立てたら会社は発展する。店主がダメでも、店員が盛り立てたら店は発展する。親がダメでも、家族が盛り立てたら家は発展する。その発展が自分に返ってくるのです。こう考えましょう。会社でも、店でも、家でも繁栄するか、衰退するか、すべての原因や責任は、中心である自分にあることを知りたい。

冬になると枝葉が枯れて、木は丸坊主になります。しかし、根さえしっかりしていれば春には新芽を出し、美しい花を咲かせます。根が生き生きしていたら、幹も、枝も、葉も、花も、必ず生氣を取り戻します。

ともかくすべてのものには中心があります。自分の立場を自覚し、自分の立場を全うする。そこに、すべての安定、調和、発展が現れてくるように思います。

会社もロータリーも同じですね。いよいよ竹内会長エレクトを中心に次年度が指導し始めました。みんなで、その根を大切にし枝、葉が栄える素晴らしいクラブを作り上げて行きましょう。

会長挨拶を終わります。

#### ■ 幹事報告

深見幹事より2点報告がありました

- ① 次週 20 日はクリスマス家族例会です。18:00 からです
- ② 1月の初回例会は、10日です。3日は休会です。

#### ■ 卓話

国際奉仕委員長加藤正広さんご紹介の廣瀬 佳司 / HIROSE KEIJI さんの卓話でした

廣瀬さんは、元日本代表ラグビー選手で、五郎丸が出てくるまでは、得点王でありました。



身振り手振りでラグビーの基本的なルールやワールドカップに向けての熱いお話がありました。

日本大会は第9回目と以外と歴史が浅いということもわかりました。

ラグビーは1923年イギリスラグビー高校でエリス少年がボールを持って走り出したところから始まったとのこと。